コミュニティ
はまゆう
2017 秋号

発行：老人保健施設はまゆう
〒680-0924 鳥取市野寺62-1
TEL（0857）51-7801 FAX（0857）51-7810
特別養護老人ホームはまゆう
〒680-0923 鳥取市服部204-1
TEL（0857）51-7838 FAX（0857）51-7837
特別養護老人ホームのでらはまゆう
〒680-0924 鳥取市野寺67
TEL（0857）51-8188 FAX（0857）51-7078

ごあいさつ

社会福祉法人賛幸会 特別養護老人ホームのでらはまゆう 施設長 **土井 政史**

介護保険制度は平成12年（2000年）に高齢社会を支える社会保障制度としてスタートし、介護保険法は平成17年、20年、23年、26年、29年と3年ごとに改正されてきました。

急激に進展し超高齢社会に突入した現在の日本においては、年金や医療、介護といった社会保障給付費が過去最高を更新し続けているのが現状です。平成29年（2017年）の高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）は27.7％に達し、鳥取県においては既に30.3％と全国平均の10年先を進んでいます。平成37年（2025年）には団塊の世代が75歳以上となり、高齢化率も30％を超え、ますます介護や医療のニーズが高まることが予想されます。さらに厚生労働省のデータによると、認知症の高齢者や世帯主が65歳以上の単独世帯・夫婦のみの世帯も増加していく見通しです。

これまでの高齢者の支え方は、昭和40年には「胴上げ型」と言われ高齢者1人に対し15歳から64歳までの生産年齢人口9.1人であったものが、平成24年には「騎馬戦型」と高齢者1人に対し生産年齢人口2.4人となる社会保障制度に変化してきています。その後、平成62年（2050年）には「肩車型」と言われる高齢者1人に対し生産年齢人口1.0人まで激減すると言われています。

そのため、増え続ける社会保障給付費を抑える観点で改正案が検討され、平成30年には医療と介護の同時改定が行われます。このため来年度の改定のみならず、超高齢社会のあるべき姿を見据えつつ、引き続き2025年の姿として描かれた医療と介護の連携、在宅医療の充実、重点化・効率化等の推進等に取り組んで地域を支える体制を構築すること（地域包括ケアシステムの基盤整備）が必要となっています。

この地域包括ケアシステムとは、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、どのような状態となっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を意味するものです。故に、この制度改革はこれまでとは異なり、「医療から介護」に、「施設から在宅」へシフトされ、より充実したサービスを提供するためのものであることから、医療福祉の一翼を担う私たち賛幸会は、今まで以上に医療と福祉の連携を密接に図り、ご利用者の自立と尊厳を支え、医療福祉を通じて地域社会に貢献できるよう日々研鑽していく所存です。

つきましては、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

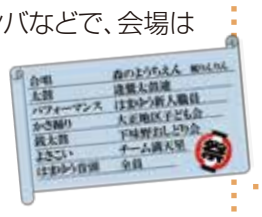
盛大ににぎわいました

はまゆう祭り

9月30日、恒例のはまゆう祭りを開催し、ご利用者、ご家族はじめ、地域の多くの皆様にもご来場いただきました。

晴れ渡る青空のもと、舞台上で披露された子どもたちのかわいい歌声や傘踊り、艶やかな浴衣姿による舞、体中に響き渡る太鼓の轟き、力みなぎるよさこい踊り、また新人職員によるサンバなどで、会場は大いに盛り上がりました。

素晴らしい演目を披露していただきましたボランティアの皆様、運営にご協力いただきました地域のボランティアの皆様、誠にありがとうございました。



夏を楽しみました

中町納涼祭

夏の恒例行事となりました、中町地区・はまゆう中町デイサービス合同納涼祭を8月19日に開催しました。

素晴らしい夏空の元、デイサービスご利用者や多くの地域住民の方々が来場され、「楽しみにしていました」というお声も多数いただきました。

準備や運営・進行に多くの皆様のご協力をいただいたおかげで、今年も成功裏に終える事ができました。ありがとうございました。

車両を購入しました！ NEW

医療法人、社会福祉法人でそれぞれ車両を購入しました。
引き続き安全運転に努めてまいります。

デイケア

クリッパー

中町デイサービス

ワゴンR

定期巡回

ミラ

特養服部・のでら

さんま炭火焼イベント

10月に、さんまの炭火焼実演を行いました。ご利用者は、香ばしい匂いに『いい匂いで早く食べたいわぁ』、『昔は七輪で焼きよったもんだ』と語らいながら眺められていました。焼いたさんまは昼食で食べました。旬のものを食べ皆さんとても喜ばれていました。

のでらはまゆう

「オレンジカフェ」営業中!!

特養のでらはまゆうに『オレンジカフェ』があります。現在7名のボランティアさんに運営していただき、皆様の憩いの場になっています。

ご利用者はもとより、ご家族、地域住民の方など、どなたでもご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

また、のでらはまゆうにはカフェに加えて足湯コーナーや、多目的スペースの地域サロンもございます。地域の老人会、婦人会、各種クラブ活動等、いろいろな活動の場としてもご利用いただけます。

ご利用をお待ちしております

足湯も最高ー!

《カフェの営業時間》月・火・水・金 13:00～15:00

お問い合わせは▶ 地域支援部 ☎51-8170(西浦)まで

ようこそ赤ちゃん先生　特養服部

10月から1年間、計6回に渡り赤ちゃん先生が、はまゆうへ来てくれています!

初回の顔合わせの会では、赤ちゃん先生の天真爛漫な笑顔に魅了され、ご利用者からは終始「かわいいな～」と歓声があがり、たくさんの笑みもこぼれていました。

大収穫の芋ほり　デイケア農業クラブ

森のようちえん「風りんりん」の子供達を招待し、デイケア農業クラブのご利用者と芋ほりを行いました。

顔程もある大きなさつま芋がたくさん収穫でき、子ども達のお土産となりました。

おしゃれをして、喫茶に行こう!!　グループホーム

普段しないお化粧をしてはまゆう喫茶へ行き、美味しいお茶をいただきました。

職員によるメイクで、ファンデーションや口紅を塗ってもらうと、鏡の中の自分に思わずにっこり☺嬉しくもあり、ちょっと恥ずかしくもあり。

いくつになっても乙女♪♪

さつま芋もち作り　老健3階

食事レクリエーションとして、さつま芋もち作りを行いました。

みんなで協力して生地をコネコネ、その後ホットプレートで焼いていただきました。

甘くておいしいと皆さん喜んでおられました。

紅葉狩りを楽しみました。　老健

11月10日 天候に恵まれた秋晴れの午後、布勢に紅葉狩りドライブへ出かけました。

少し肌寒さがありましたが、芝生の上に座ったり、寝転んだりと秋の一日を楽しまれました。

柿のオブジェを作成！　デイケア

デイケアでは、季節展示を毎月作成しています。

10月は、折り紙で柿を作りました。立体的に折りあがった柿を木の枝に吊るすと、本物さながらとなりました。

ボランティア・寄付・寄贈の皆様をご紹介します

ボランティア			
生花教室	長石　啓子様 村上美利子様	オレンジカフェ	竹内　栄子様 加納　恭子様 矢山ツタエ様 横原三恵子様 岩永なつ江様 荻原由紀子様 北浦　宣子様
お茶会	小泉　良子様		
アコーディオン	中嶋　玲子様 斧谷　　操様		
ジャズ演奏	鳥取大学 JAZZ&FUSION研究会		
草取り	田中　　真様	はまゆう祭り	福祉理美容センター様 大正地区民生児童委員様 鳥取市ボランティアセンター様 山陰合同銀行 鳥取営業部様
大正琴	ハープアンサンブル鮎様		
マジック	こども科学館様 鳥取大学奇術部様		

寄付	
タオル	北尾　嬌子様
はまゆう祭り	高草あすなろ様 オフィスジョーカー様 服部簡易郵便局様 ㈱ニシウラ様 高田商店様 えびす本郷様 中山　重雄様 前田　一男様

ありがとうございました

編集後記

今年も、ご家族や地域の皆様のご協力により、様々な行事や活動を執り行うことができ、ご利用者皆様にご満足いただけたと思います。ありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願いいたします。